

紙造し度い。

決議文の朗讀（別紙の通）

正當なる要求が推補された場合は筑豊炭山の炭夫は一齊に立ち上つて大衆行動に出づるの覚悟を要す。即ち我々は一齊に立ち上ると共に草鞋を履いて稱頌をかついて最後の多数を目的とする——（注意）

我々の要求が敗れた場合は東京の街上に尿を洒す覚悟である。再び筑豊に歸らぬ（拍手）

決議文朗讀なく可決す（拍手）

○上京委員の選任

上京の上夫々各要路に運動の爲上京委員を決定し度い

（議長一任）

議長より指名

上京委員（三名）

代議士

織井 貞一郎

福岡県九州聯合會主事

久保 時造

日本石炭坑夫組合主事

宮崎 太郎

(4) 議長挨拶

職業の善悪が終つたのである。我々は腹に懸けても目的の貫徹に努む。更に第二第三の人を派遣しても。

七、織井代議士の演説（要旨）

此の機會に中央情報報告と本運動に對する決意を述べ度い。

第一に上京運動の趣旨を述べれば、

(1) 失業原因、炭坑不振は經濟界不況の影響である。農村の病状も同様である